



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業	業務別所収	(1 / 2)
業務名	筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務		

業務別業務名:調査業務

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:調査業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:調査業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S63007	現地踏査（電気設備）		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,2.60人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.60人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.60人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員的人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	2.600	人	70,900	184,340	
R04004	技師（A）					
	外業	2.600	人	62,600	162,760	
	合 計				347,100	算出数量 1,000 式
	単 価		式		347,100	
	*** S単一 2号 ***					
S63007	概略診断調査（電気設備）		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,11.50人,13.50人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	11.50人				
	5)技師Bの人数	13.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員的人数	0.00人				
R04004	技師（A）					
	外業	11.500	人	62,600	719,900	
R04005	技師（B）					
	外業	13.500	人	49,300	665,550	
	合 計				1,385,450	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,385,450	
	*** S単一 3号 ***					
S63007	移動に係る技術者の基準日額		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.13人,1.56人,7.06人,5.98人,2.47人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.13人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.56人				
	5)技師Bの人数	7.06人				
	6)技師Cの人数	5.98人				
	7)技術員的人数	2.47人				
R04003	主任技師					
	外業	0.130	人	70,900	9,217	
R04004	技師（A）					
	外業	1.560	人	62,600	97,656	
R04005	技師（B）					
	外業	7.060	人	49,300	348,058	
R04006	技師（C）					
	外業	5.980	人	42,500	254,150	
R04007	技術員					
	外業	2.470	人	36,700	90,649	
	合 計				799,730	算出数量 1,000 式
	単 価		式		799,730	
	*** S単一 4号 ***					
S65001	現地踏査（コンクリート構造物）		施設		1,000 日	歩A 当たり算出
	現地踏査（コンクリート構造物） 点的構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象構造物	点的構造物		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務				

業務別業務名:調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師					
	外業	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
	外業	1.000	人	62,600	62,600	
Y00004	機械経費					
		0.015		133,500	2,003	
Y00004	材料費					
		0.004		133,500	534	
	合 計				136,037	算出数量 2.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		68,019	
Y00001	単位					
	*** S単一 5号 ***					
S65002	近接目視		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	近接目視 点的構造物,5,606㎡			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象構造物 2)作業対象面積	点的構造物 5,606㎡		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)					
	外業	1.000	人	49,300	49,300	
R04006	技師 (C)					
	外業	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員					
	外業	1.000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費					
	3.0%	0.030		128,500	3,855	
Y00004	材料費					
	2.0%	0.020		128,500	2,570	
	合 計				134,925	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,260,200	
	*** S単一 6号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査		測点		1.000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C)					
	外業	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員					
	外業	1.000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費					
	10.0%	0.100		79,200	7,920	
	合 計				87,120	算出数量 20.000 測点
	単 価		測点		4,356	
	*** S単一 7号 ***					
S65004	鉄筋調査		箇所		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C)					
	外業	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員					
	外業	1.000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費					
	30.0%	0.300		79,200	23,760	
	合 計				102,960	算出数量 25.000 箇所
	単 価		箇所		4,118	

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 8号 ***					
S65009	中性化深さ試験(ドリル法) 中性化深さ試験(ドリル法)		箇所		1,000 日	歩A 当たり算出
	1)中性化深さ試験(ドリル法)	計上する		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	49,300	49,300	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	42,500	42,500	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		91,800	9,180	
Y00004	材料費 5.0%	0.050		91,800	4,590	
	合 計				105,570	算出数量 12.000 断面
	単 価		断面		8,798	
	*** S単－ 9号 ***					
S65402	現地踏査及び診断調査 (用排水ポンプ) 現地踏査及び診断調査 (用排水ポンプ) 横軸,2台,計上する,計上する		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)ポンプ形式区分 2)対象施設数	横軸 2.000台		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)現地踏査 4)概略診断調査	計上する 計上する				
R04004	技師 (A) 外業	3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B) 外業	3.700	人	49,300	182,410	
	合 計				370,210	算出数量 1.000 式
	単 価		式		370,210	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:設計業務

九州農政局

業務別業務名:設計業務

九州農政局

業務別業務名:設計業務

[illegible]

[illegible]

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S63003	*** S単ー 1号 *** 施設の影響度評価					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人		式	294,700		歩A・単A
S63003	*** S単ー 2号 *** 現地調査(定点調査)計画の作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.50人,2.60人,0.00人,0.00人,0.00人		式	269,110		歩A・単A
S63003	*** S単ー 3号 *** 機能保全コストの算定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,6.50人,8.10人,6.60人,5.90人		式	1,445,060		歩A・単A
S63003	*** S単ー 4号 *** 1. 事前調査					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,2.50人,4.00人,3.80人,0.00人		式	515,200		歩A・単A
S63003	*** S単ー 5号 *** 2. 機能診断評価(健全度評価)					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.50人,5.90人,5.80人,0.00人,0.00人		式	903,430		歩A・単A
S63003	*** S単ー 6号 *** 3-1. 性能低下予測					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.40人,0.90人,1.20人,1.20人,0.90人		式	227,890		歩A・単A
S63003	*** S単ー 7号 *** 3-2. 機能保全対策の検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.10人,2.40人,3.00人,3.10人,2.40人		式	595,960		歩A・単A
S63003	*** S単ー 8号 *** 3-3. 対策実施シナリオの作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.60人,1.50人,2.20人,2.20人,1.80人		式	404,460		歩A・単A
S63003	*** S単ー 9号 *** 3-4. 機能保全コストの算定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.70人,2.80人,3.80人,4.40人,3.00人		式	709,350		歩A・単A
S63003	*** S単ー 10号 *** 3-5. 機能保全計画の策定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.10人,4.00人,3.90人,0.00人,0.00人		式	591,560		歩A・単A
S63003	*** S単ー 11号 *** 4. 農業水利ストック情報データの作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,1.30人,1.50人,0.00人		式	127,840		歩A・単A
S63003	*** S単ー 12号 *** 5. 点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.30人,1.50人,0.00人,2.20人,0.00人		式	279,570		歩A・単A
S63007	*** S単ー 13号 *** 外業作業(事前準備)の移動に伴う基準日額					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.10人,0.17人,0.16人,0.00人,0.00人		式	25,620		歩A・単A
S63010	*** S単ー 14号 *** 打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2日		回	93,450		歩A・単A
S63010	*** S単ー 15号 *** 打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日		回	78,330		歩A・単A
S63018	*** S単ー 16号 *** 旅費交通費(設計外業日帰用)					
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,2日,4時間		式	16,147		歩A・単A
S63023	*** S単ー 17号 *** 電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 1,Aー4,1000,10cm,0		式	13,586		歩A・単A
S63031	*** S単ー 18号 *** 《打合せ(設計旅費・交通費)》					
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	3,600		歩A・単A
S63031	*** S単ー 19号 *** 《打合せ(設計旅費・交通費)》					
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	3,600		歩A・単A
S65502	*** S単ー 20号 *** 機能診断 点的構造物					
	機能診断 点的構造物 1箇所,機場		式	1,185,791		歩A・単A
S65902	*** S単ー 21号 *** 機能診断(用排水ポンプ)					
	機能診断(用排水ポンプ) 横軸,2台,計上する,計上する,計上しない,計上する,計上する,計上する,計上		式	952,120		歩A・単A

[illegible]

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S63003	施設の影響度評価		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
	合 計				294,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		294,700	
	*** S単一 2号 ***					
S63003	現地調査(定点調査)計画の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.50人,2.60人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.60人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.500	人	70,900	106,350	
R04004	技師 (A)	2.600	人	62,600	162,760	
	合 計				269,110	算出数量 1.000 式
	単 価		式		269,110	
	*** S単一 3号 ***					
S63003	機能保全コストの算定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,6.50人,8.10人,6.60人,5.90人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.50人				
	5)技師Bの人数	8.10人				
	6)技師Cの人数	6.60人				
	7)技術員の人数	5.90人				
R04003	主任技師	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)	6.500	人	62,600	406,900	
R04005	技師 (B)	8.100	人	49,300	399,330	
R04006	技師 (C)	6.600	人	42,500	280,500	
R04007	技術員	5.900	人	36,700	216,530	
	合 計				1,445,060	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,445,060	
	*** S単一 4号 ***					
S63003	1. 事前調査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,2.50人,4.00人,3.80人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	3.80人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師 (A)	2.500	人	62,600	156,500	
R04005	技師 (B)	4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)	3.800	人	42,500	161,500	
	合 計				515,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		515,200	
	*** S単— 5号 ***					
S63003	2. 機能診断評価 (健全度評価)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.50人,5.90人,5.80人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.90人				
	5)技師Bの人数	5.80人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	3.500	人	70,900	248,150	
R04004	技師 (A)	5.900	人	62,600	369,340	
R04005	技師 (B)	5.800	人	49,300	285,940	
	合 計				903,430	算出数量 1.000 式
	単 価		式		903,430	
	*** S単— 6号 ***					
S63003	3-1. 性能低下予測		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.40人,0.90人,1.20人,1.20人,0.90人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.40人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.90人				
	5)技師Bの人数	1.20人				
	6)技師Cの人数	1.20人				
	7)技術員の数	0.90人				
R04003	主任技師	0.400	人	70,900	28,360	
R04004	技師 (A)	0.900	人	62,600	56,340	
R04005	技師 (B)	1.200	人	49,300	59,160	
R04006	技師 (C)	1.200	人	42,500	51,000	
R04007	技術員	0.900	人	36,700	33,030	
	合 計				227,890	算出数量 1.000 式
	単 価		式		227,890	
	*** S単— 7号 ***					
S63003	3-2. 機能保全対策の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.10人,2.40人,3.00人,3.10人,2.40人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.10人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.40人				

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.10人				
	7)技術員の人数	2.40人				
R04003	主任技師					
		1.100	人	70,900	77,990	
R04004	技師 (A)					
		2.400	人	62,600	150,240	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		3.100	人	42,500	131,750	
R04007	技術員					
		2.400	人	36,700	88,080	
	合 計				595,960	算出数量 1.000 式
	単 価		式		595,960	
	*** S単— 8号 ***					
S63003	3-3. 対策実施シナリオの作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.60人,1.50人,2.20人,2.20人,1.80人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.60人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	2.20人				
	6)技師Cの人数	2.20人				
	7)技術員の人数	1.80人				
R04003	主任技師					
		0.600	人	70,900	42,540	
R04004	技師 (A)					
		1.500	人	62,600	93,900	
R04005	技師 (B)					
		2.200	人	49,300	108,460	
R04006	技師 (C)					
		2.200	人	42,500	93,500	
R04007	技術員					
		1.800	人	36,700	66,060	
	合 計				404,460	算出数量 1.000 式
	単 価		式		404,460	
	*** S単— 9号 ***					
S63003	3-4. 機能保全コストの算定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.70人,2.80人,3.80人,4.40人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.70人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.80人				
	5)技師Bの人数	3.80人				
	6)技師Cの人数	4.40人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師					
		0.700	人	70,900	49,630	
R04004	技師 (A)					
		2.800	人	62,600	175,280	
R04005	技師 (B)					
		3.800	人	49,300	187,340	
R04006	技師 (C)					
		4.400	人	42,500	187,000	
R04007	技術員					
		3.000	人	36,700	110,100	
	合 計				709,350	算出数量 1.000 式
	単 価		式		709,350	
	*** S単— 10号 ***					
S63003	3-5. 機能保全計画の策定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.10人,4.00人,3.90人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.10人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	3.90人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.100	人	70,900	148,890	
R04004	技師 (A)					
		4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		3.900	人	49,300	192,270	
	合 計				591,560	算出数量 1.000 式
	単 価		式		591,560	
	*** S単一 11号 ***					
S63003	4. 農業水利ストック情報データの作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,1.30人,1.50人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	1.30人				
	6)技師Cの人数	1.50人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04005	技師 (B)					
		1.300	人	49,300	64,090	
R04006	技師 (C)					
		1.500	人	42,500	63,750	
	合 計				127,840	算出数量 1.000 式
	単 価		式		127,840	
	*** S単一 12号 ***					
S63003	5. 点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.30人,1.50人,0.00人,2.20人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	2.20人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.300	人	70,900	92,170	
R04004	技師 (A)					
		1.500	人	62,600	93,900	
R04006	技師 (C)					
		2.200	人	42,500	93,500	
	合 計				279,570	算出数量 1.000 式
	単 価		式		279,570	
	*** S単一 13号 ***					
S63007	外業作業 (事前準備) の移動に伴う基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.10人,0.17人,0.16人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.10人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.17人				
	5)技師Bの人数	0.16人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	0.100	人	70,900	7,090	

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04004	技師 (A)					
	外業	0.170	人	62,600	10,642	
R04005	技師 (B)					
	外業	0.160	人	49,300	7,888	
	合 計				25,620	算出数量 1.000 式
	単 価		式		25,620	
	*** S単一 14号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師					
		0.700	人	70,900	49,630	
R04004	技師 (A)					
		0.700	人	62,600	43,820	
	合 計				93,450	算出数量 1.000 回
	単 価		回		93,450	
	*** S単一 15号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04004	技師 (A)					
		0.700	人	62,600	43,820	
R04005	技師 (B)					
		0.700	人	49,300	34,510	
	合 計				78,330	算出数量 1.000 回
	単 価		回		78,330	
	*** S単一 16号 ***					
S63018	旅費交通費 (設計外業日帰用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰用)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	ライトバン,2日,4時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)交通機関区分	ライトバン		深夜時間:0.0		
	2)高速道路往復料金 (税別)	3,872円				
	3)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	2日				
	8)時間区分	4時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	0.390日				
	11)設計用技師A外業日数	0.650日				
	12)設計用技師B外業日数	0.600日				
	13)設計用技師C外業日数	0.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	2.000	式	3,872	7,744	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	2,560	5,120	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	21.600	L	152	3,283	

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				16,147	算出数量 1.000 式
	単 価		式		16,147	
	*** S単一 17号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,1000,10cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	並熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)規格区分	A-4				
	3)枚数区分(枚)	1000		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	10cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43504	報告書焼付代(コピー) A-4以下 1000枚	1.000	部	12,700	12,700	
P43544	簡易加除式ファイル A4縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	886	886	
P43602	CD-R CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				13,586	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,586	
	*** S単一 18号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》		回		1.000	歩A 当たり算出
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	並熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金(税別)	0円				
	10)鉄道往復1人当料金(税別)	1,800円				
	11)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				
	16)宿泊料金1式当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1式当料金(税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,800	3,600	
	合 計				3,600	算出数量 1.000 回
	単 価		回		3,600	
	*** S単一 19号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》		回		1.000	歩A 当たり算出
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	並熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金(税別)	0円				
	10)鉄道往復1人当料金(税別)	1,800円				
	11)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	16)宿泊料金 1 式当料金 (税別)	0円				
	17)宿泊手当 1 式当料金 (税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金					
	消費税抜き	2.000	人	1,800	3,600	
	合 計				3,600	算出数量 1.000 回
	単 価		回		3,600	
	*** S単一 20号 ***					
S65502	機能診断 点的構造物		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	機能診断 点的構造物 1箇所、機場			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計対象施設数	1箇所		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)対象工種	機場		深夜時間:0.0		
	3)1.業務準備	計上する				
	4)2-1.事前調査資料調査	計上する				
	5)2-2.事前調査問診調査	計上する				
	6)3.施設機能の検討	計上する				
	7)5.性能低下要因の推定	計上する				
	8)10.健全度評価	計上する				
	9)11.性能低下予測	計上する				
	10)12.管理水準の設定	計上する				
	11)13.機能保全対策の検討	計上する				
	12)15.機能保全計画の策定	計上する				
	13)16.農業水利ストック情報データ入力・登録	計上する				
	14)17.点検取りまとめ	計上する				
	15)1個別補正業務準備	1.00				
	16)2-1個別補正資料調査	1.00				
	17)2-2個別補正問診調査	1.00				
	18)3個別補正施設機能の検討	1.00				
	19)5個別補正性能低下要因の推定	1.00				
	20)10個別補正健全度評価	1.00				
	21)11個別補正性能低下予測	1.00				
	22)12個別補正管理水準の設定	1.00				
	23)13個別補正機能保全対策の検討	1.00				
	24)15個別補正機能保全計画の策定	1.00				
	25)16個別補正ストック情報データ入力・登録	1.00				
	26)17個別補正点検取りまとめ	1.00				
R04003	主任技師					
	内業	2.610	人	70,900	185,049	
R04004	技師 (A)					
	内業	5.890	人	62,600	368,714	
R04005	技師 (B)					
	内業	7.830	人	49,300	386,019	
R04006	技師 (C)					
	内業	4.260	人	42,500	181,050	
R04007	技術員					
	内業	1.770	人	36,700	64,959	
	合 計				1,185,791	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,185,791	
	*** S単一 21号 ***					
S65902	機能診断 (用排水ポンプ)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	機能診断 (用排水ポンプ) 横軸,2台,計上する,計上する,計上しない,計上する,計上する,計上する,計上する,計上する,計上する,計上する			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
	1)ポンプ形式区分	横軸				
	2)対象施設数	2.000台				
	3)事前調査	計上する				
	4)概略診断評価	計上する				
	5)詳細診断評価 (簡易内部診断)	計上しない				
	6)性能低下予測	計上する				
	7)機能保全対策の検討	計上する				
	8)対策実施シナリオの作成	計上する				
	9)機能保全コストの算定	計上する				
	10)機能保全計画の策定	計上する				
	11)農業水利ストック情報データ入力及び登録	計上する				
	12)点検取りまとめ	計上する				
R04003	主任技師					
	内業	2.100	人	70,900	148,890	
R04004	技師 (A)					
	内業	5.600	人	62,600	350,560	
R04005	技師 (B)					
	内業	6.200	人	49,300	305,660	

[illegible]

令和 7 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条

令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条

本業務は、国営土地改良事業「白石平野地区」で造成された白石平野揚水機場の機能診断調査を行うとともに、施設の機能を保全するために必要な対策方法等を定めた機能保全計画を策定するものである。

(場所)

第1-3条

本業務における対象施設の場所は、佐賀県小城市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地の立ち入り等)

第1-4条

作業実施のための土地の立ち入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1-6条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施の順序、方法等は監督職員と綿密な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(管理技術者)

第 1－7 条

- 1 管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学 農業－農業土木 建設－鋼構造及びコンクリート
	農業	農業農村工学、農業土木
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

- 2 予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第 1－8 条

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1－9 条

共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第 1－10 条

受注者は、共通仕様書第 1-37 条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き	農林水産省農村振興局	令和5年4月
2	農業水利施設の機能保全の手引き 「ポンプ場（ポンプ設備）」	農林水産省農村振興局	令和8年4月
3	農業水利施設の機能保全の手引き 「電気設備」	農林水産省農村振興局	平成25年5月
4	農業水利施設の長寿命化のための手引き	農林水産省農村振興局	平成27年11月

(作業条件)

第2-2条

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地調査に伴い施設内に立入る場合、監督職員と打合せを行い施設管理者と調整を実施するものとする。
- (4) 現地調査の結果、仮設等が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。
- (5) 作業上、支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

(対象施設)

第2-3条

本業務の対象となる施設等詳細は、別紙1【調査対象施設一覧表】による。

(参考図書)

第2-4条

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名称	発 行 所	制定(発行)年月
1	コンクリートのひび割れ調査、補修・補強 指針 -2022-	(公社) 日本コンクリート工学会	令和4年6月
2	コンクリート診断技術 '26		令和8年3月
3	コンクリート標準示方書(設計編)	(公社) 土木学会	令和5年3月
4	コンクリート標準示方書(施工編)		令和5年9月
5	コンクリート標準示方書(維持管理編)		令和5年3月

6	農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料（案）[計画編]	農林水産省農村振興局	平成 30 年 3 月
7	農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料（案）[ポンプ場編]		平成 30 年 3 月
8	農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料（案）[ポンプ設備編]		令和 3 年 6 月
9	農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料（案）[電気設備編]		令和 3 年 6 月

(貸与資料)

第 2－5 条

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数 量
1	国営かんがい排水事業 筑後川下流地区 事業誌 国営筑後川下流土地改良事業 筑後川下流地区	1 式
2	国営かんがい排水事業 筑後川下流地区 事業誌 国営筑後川下流土地改良事業 白石地区	1 式
3	白石平野揚水機場 施設管理図	1 式
4	筑後川下流白石平野（一期）農業水利事業 白石平野揚水機場ポンプ製作据付建設工事 完成図書（抜粋）	1 式

また、上記以外で必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2－6 条

第 2-4 条、第 2-5 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第 3 章 作業内容

(作業項目及び数量)

第 3－1 条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は別紙 2【現地調査作業項目内訳表】、別紙 3【機能診断、機能保全計画の策定作業項目内訳表】に示すものとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 現地調査	1 式	詳細は別紙 2
2. 機能診断	1 式	詳細は別紙 3
3. 機能保全計画の策定	1 式	詳細は別紙 3

(現地作業内容)

第3-2条

現地調査の詳細は次のとおりである。また、作業は施設管理者と調整の上で行う。

(1) 現地踏査

事前調査で得られた情報を参考に、目視により変状の有無や変状箇所の特定制を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査（定点調査）位置を選定、検討する。

(2) 現地調査（定点調査）

現地調査（定点調査）選定結果に基づき、近接目視と定量計測を行う。

(3) これらの調査結果は、農業水利ストック情報データベースの登録情報データ外部入出力機能を利用して記録するものとし、記録した電子データは成果物に含むものとする。

(作業の留意点)

第3-3条

業務の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

(1) 中性化深さ調査（ドリル法）を行う際は構造物への影響が最小限となるよう配慮する。

なお、削孔後は既存施設の機能を損なわないよう無収縮モルタル等により復旧を行うものとする。

(2) 現地調査において、著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。

(3) 現地踏査等施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受けて実施するものとする。

(4) 対策内容の検討にあたっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。

(5) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

(6) 第2-4条、第2-5条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

(7) 機能保全対策シナリオの検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）、農業水利施設保全補修ガイドブック2024（（一社）農業土木事業協会発行）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。

・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、

<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。

・農業水利施設保全補修ガイドブック2024については、

<https://www.jagree.or.jp/publication/books/no9/> を参照。

・新技術情報システム（NETIS）

<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。

(8) 対象施設、関連施設及び設備が機能診断を完了している場合は、同成果の内容を確認するとともに十分に活用し効率的な作業を行う。

(9) 対策内容の検討にあたっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。

(10) 数量計算にあたっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

・「工事工種の体系化」は

https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。

- (11) 農業水利ストック情報データの作成は、機能診断情報記入用 Excel ファイルによる入力のほか、登録情報データ外部入出力機能等を適宜使用することを基本とするが、作業方法、内容等について監督職員と十分協議を行った上作業を行うものとする。なお、作成した電子データは成果物に含むものとする。
- (12) 農業水利ストック情報データベースへの登録作業時に必要な ID・PW は、発注者より別途指示する。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3－4条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という。)は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。
なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、間接調査費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4－1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。
また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

- 初 回 作業着手の段階
- 第 2 回 中間打合せ（現地調査（定点調査）計画作成時）
- 第 3 回 中間打合せ（機能診断評価時）
- 第 4 回 中間打合せ（機能保全計画検討時）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第 1-11 条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第 5 章 成果物

（成果物）

第 5－1 条

成果物を共通仕様書第 1 章第 1-17 条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体（CD-R等）正副 2 部
- 2 成果物の出力 1 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

（成果物の提出先）

第 5－2 条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口 8 9 1－2 0
九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第 6 章 契約変更

（契約変更）

第 6－1 条

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- （1）第 2－2 条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。
- （2）第 2－3 条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。
- （3）第 3－1 条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- （4）第 4－1 条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- （5）第 5－1 条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- （6）履行期間の変更が生じた場合。
- （7）関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- （8）その他

（業務スライドの試行）

第 6－2 条

- （1）本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて（試行）」（令和 7 年 12 月 17 日付け 7 農振第 2167 号農村振興局整備部設計課長通知）（URL 「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」）に基づく試行業務である。
- （2）発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から 12 月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不相当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。

- (3) 発注者又は受注者は、(2)の規定による請求があったときは、変動前残業務費（業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。）と変動後残業務費（変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。）との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
- (4) 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (5) (2)の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、(2)中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。
- (6) 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不相当となったときは、発注者又は受注者は、(2)～(5)の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。
- (7) (6)の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (8) (4)及び(7)の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。
ただし、発注者が(2)、(6)の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。
- (9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1)に記載の通知に基づくものとする。

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 1 【調査対象施設一覧表】

施設名称	施設概要	備考
白石平野揚水機場	建屋 鉄筋コンクリート造（2 階建）1 式	
	土木構造物 吸水槽 円筒形 PC タンク 内径 φ 19. 6m 1 箇所 吐水槽 円筒形 PC タンク 内径 φ 16. 7m 1 箇所	
	ポンプ設備 横軸両吸込単段渦巻ポンプ φ 1, 200mm 2 台	
	電気設備1 式	

別紙2【現地調査作業項目内訳表】

(1) 白石平野揚水機場（建屋、土木構造物）

作業項目	作業内容	数量
1. 現地踏査	事前調査で得られた情報を参考に、目視により変状の有無や変状箇所の特定制を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査（定点調査）を行う調査地点、調査項目等を選定、検討する。	1 式
2. 近接目視	現地踏査により決定した調査地点において、目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。 なお、調査範囲は建屋の側壁及び屋根、吐水槽及び吸水槽の側壁とする。	5,606 m ²
3. コンクリート強度推定調査	建屋においては、リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。	1 測点
4. 鉄筋探査	建屋においては、中性化深さ調査（ドリル法）の調査位置特定のため、鉄筋探査器により鉄筋位置・かぶりの探査を行う。	1 箇所
5. 中性化深さ調査（ドリル法）	建屋においては、コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS 3419）	1 箇所

(2) 白石平野揚水機場（ポンプ設備）

作業項目	作業内容	数量
1. 現地踏査	現地調査の実施手順を決定するために、事前調査で得られた情報をもとに設備を踏査することで、現地調査に伴う仮設の必要性等の現場条件、劣化箇所の位置や劣化の内容、程度など、必要な事項について概略を把握し、現地調査箇所や調査項目、調査方法を決定する。	1 式
2. 概略診断調査	事前調査、現地踏査により得られた情報をもとに、目視、触覚、聴覚等人間の五感による判断と付属計器類の指示値、簡易計測器の測定値、日常・定期点検記録や整備・補修履歴及び、操作記録等から設備の状態、機能を確認する。	1 式

(3) 白石平野揚水機場（電気設備）

作業項目	作業内容	数量
1. 現地踏査	現地調査の実施手順を決定するために、事前調査で得られた情報をもとに設備を踏査することで、現地調査に伴う仮設の必要性等の現場条件、劣化箇所の位置や劣化の内容、程度など、必要な事項について概略を把握し、現地調査箇所や調査項目、調査方法を決定する。	1 式
2. 概略診断調査	事前調査、現地踏査により得られた情報をもとに、定期保全記録の確認、現地調査（目視）、修理・交換の必要な機器及び部品の確認、参考耐用年数を超過した機器の確認を行う。	202 個

別紙3【機能診断、機能保全計画の策定作業項目内訳表】

(1) 白石平野揚水機場（建屋、土木構造物）

作業項目	作業内容	数量
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	1 式
2. 事前調査		
2-1 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。	1 式
2-2 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	1 式
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	1 式
4. 施設の影響度評価	事前調査、現地踏査結果を基に、施設が機能停止した場合の影響度を評価する。	1 式
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地踏査結果を基に、主な性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。	1 式
6. 現地調査（定点調査）計画の作成	事前調査、現地踏査及び施設が機能停止した場合の影響度等を勘案し、現地調査（定点調査）の範囲・調査地点の密度及び調査手法を選定する。	1 式
7. 健全度評価	調査結果に基づき、調査単位毎に施設の健全度の判定を行う。	1 式
8. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	1 式
9. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の影響度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	1 式
10. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定した対策工法・実施時期・実施範囲を組み合わせ、対策シナリオを複数作成する。	1 式
11. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。（コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。）	1 式
12. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設影響度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。	1 式
13. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1 式
14. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式

(2) 白石平野揚水機場（ポンプ設備）

作業項目	作業内容	数量
1. 事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。	1 式
2. 概略診断評価 （健全度評価）	概略診断調査の結果から、施設機械設備における健全度ランクの区分に基づき、設備・装置・部位の性能低下状態やその要因を把握し、健全度を総合的に判定する。	1 式
3. 機能保全対策の検討		
3-1 性能低下予測	設備を構成する装置・部位毎に対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに、設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測(余寿命予測)を行う。	1 式
3-2 機能保全対策の検討	機能診断評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策を検討する。劣化傾向等を予測し、将来的な劣化対策を検討する。	1 式
3-3 対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。	1 式
3-4 機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備にかかる費用、②今後の更新等に必要となる費用(想定)、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。	1 式
3-5 機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。	1 式
4. 農業水利ストック情報 データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1 式
5. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式

(3) 白石平野揚水機場（電気設備）

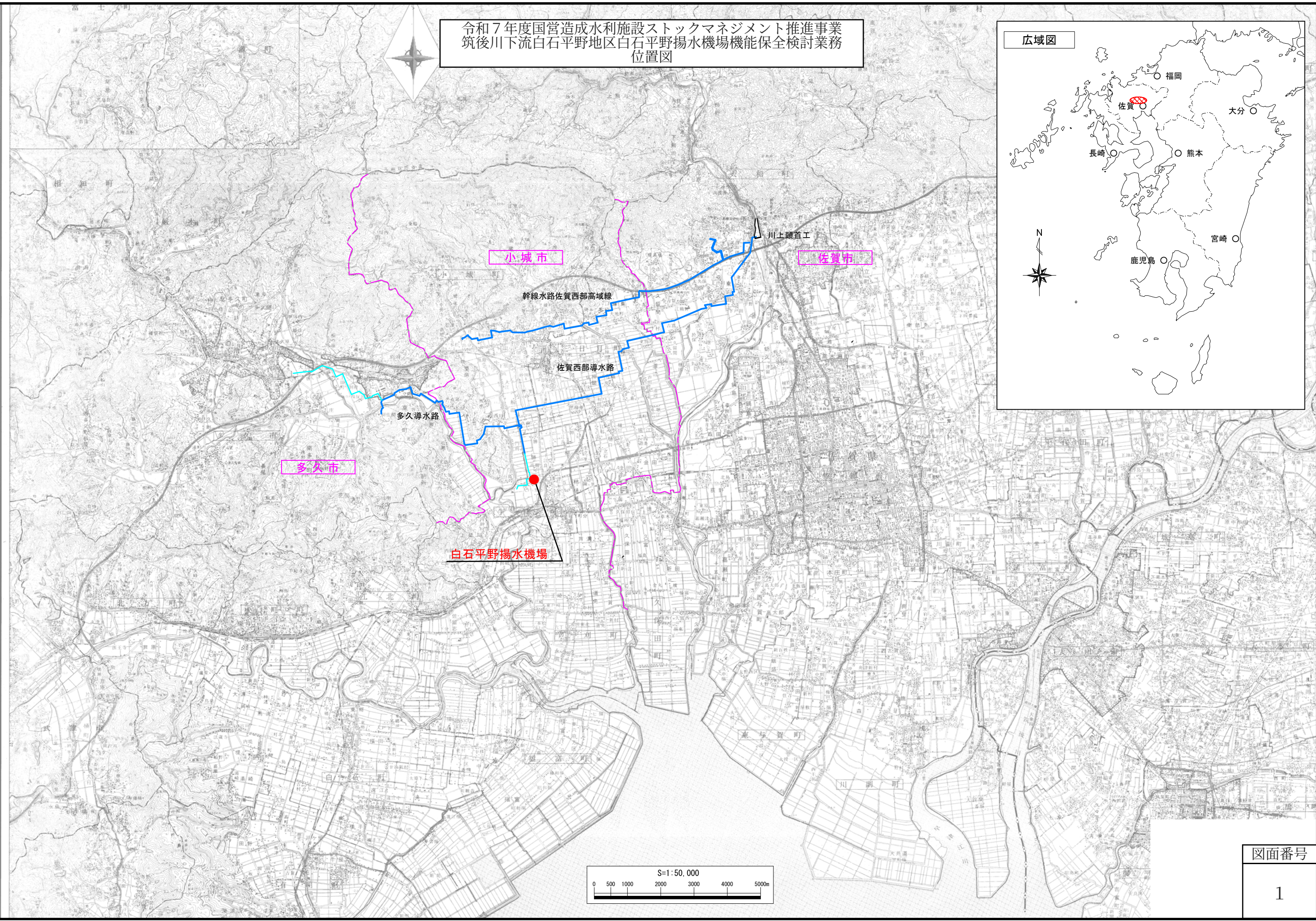
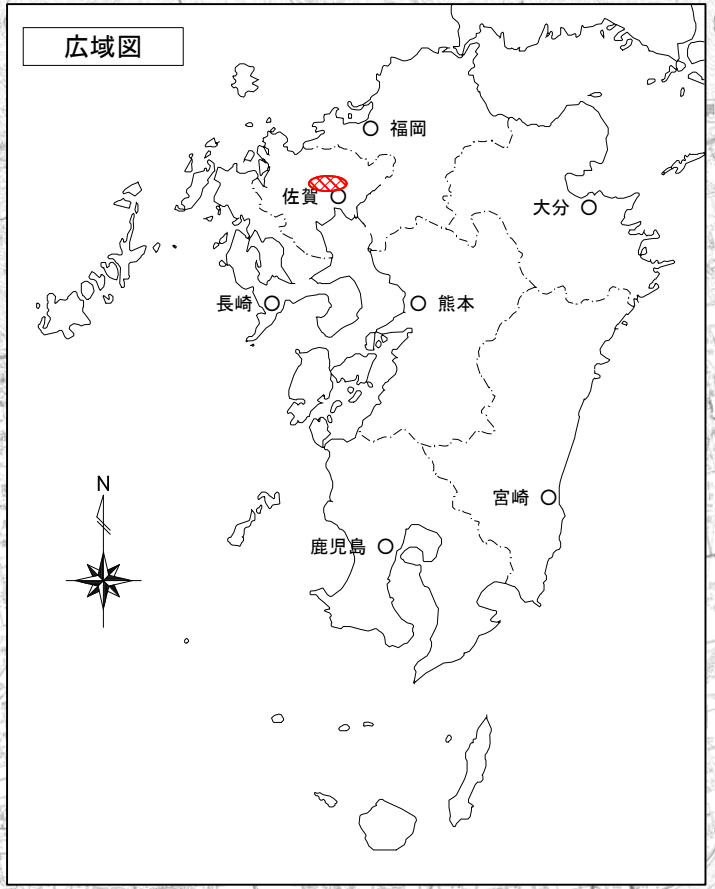
作業項目	作業内容	数量
1. 事前調査	設備の状況や問題点等を把握するために、関係機関から事前に既存資料収集や聞き取り調査等を行う。これにより、現地での機能診断調査項目を決定し、健全度評価や劣化対策等に必要となる情報を収集・整理する。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。	1 式
2. 概略診断評価 （健全度評価）	概略診断調査の結果と経過年数及び参考耐用年数で概略診断の評価を行う。	1 式
3. 機能保全対策の検討		
3-1 性能低下予測	設備を構成する装置・部位ごとに対策が必要となる時期や方法を比較検討するとともに設備全体としての対策実施の要否、その時期を明らかにすることを目的として実施する。 劣化特性や劣化予測の把握の可否を十分に踏まえて将来予測（余寿命予測）を行う。	1 式
3-2 機能保全対策の検討	概略診断調査評価結果を踏まえ、当面必要となる機能保全対策の検討や、劣化傾向等を把握し、将来的な劣化検討を行う。	1 式
3-3 対策実施シナリオの作成	今後必要となる対策の時期、内容等を予測して、機能保全コストを算出するために対策範囲・工法とその実施時期の組合せを検討する。	1 式
3-4 機能保全コストの算定	各種診断結果による機能保全コストとして、①当面の整備にかかる費用、②今後の更新等に必要な費用（想定）、③定期点検に必要な費用を合算し算定する。	1 式
3-5 機能保全計画の策定	施設機能の維持、対策実施の合理性、設備重要度との適合性、維持管理の容易さ等を総合的に勘案し機能保全計画を策定する。	1 式
4. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1 式
5. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式

令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業

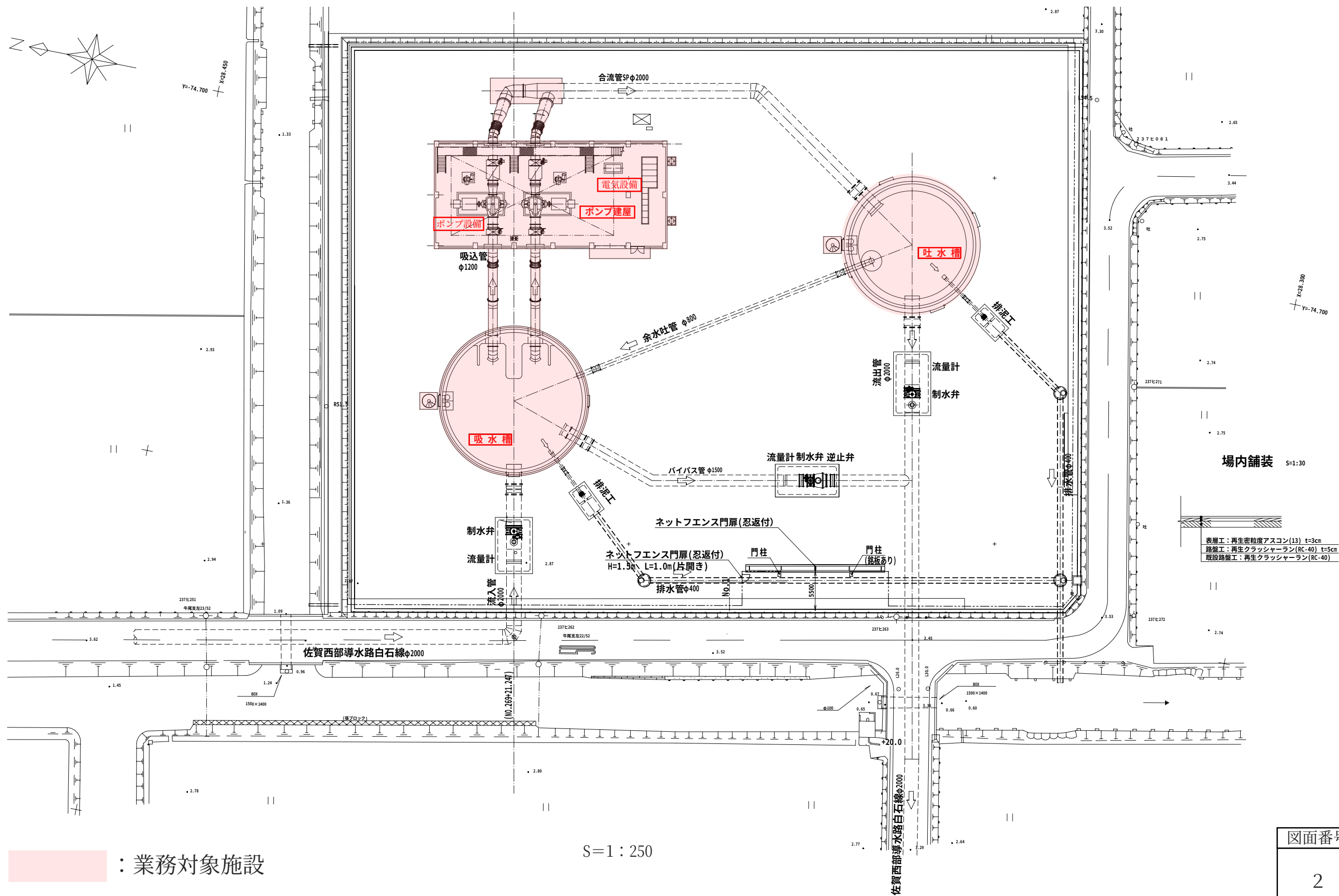
図面目録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	白石平野揚水機場 平面図	1	
計		2	

令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務
位置図



令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
筑後川下流白石平野地区白石平野揚水機場機能保全検討業務
白石平野揚水機場 平面図



図面番号

2